

平成31年度 仙台高等専門学校専攻科

学生募集要項

出願書類添付

情報電子システム工学専攻
生産システムデザイン工学専攻

区分	出願期間	検査日	合格発表日
推薦選抜	平成30年 5月10日(木) ~5月16日(水)	平成30年 5月24日(木)	平成30年 5月31日(木)
社会人特別選抜			
学力選抜	平成30年 6月1日(金) ~6月7日(木)	平成30年 6月15日(金)	平成30年 6月28日(木)

平成30年3月



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校

National Institute of Technology, Sendai College

問合せ先

広瀬キャンパス

〒989-3128

仙台市青葉区^{あやし}愛子 中央四丁目16番1号

TEL : 022-391-5542 (入試係)

FAX : 022-391-6146

名取キャンパス

〒981-1239

名取市^{めでしま}愛島 塩手字野田山48番地

TEL : 022-381-0254 (教務係)

FAX : 022-381-0267

E-mail nyushi@sendai-nct.ac.jp ホームページ <http://www.sendai-nct.ac.jp/>

目 次

学生募集要項

	頁
I アドミッションポリシー	1
II 募集人員及び選抜方法	1
III 選抜日程	1
IV JABEEの認定を受けた教育プログラム 修了要件の確認について	1
V 推薦による入学者の選抜	2
1. 出願資格	2
2. 出願期間及び提出先	2
3. 出願書類等及び出願手続	2
4. 選抜の方法	3
5. 合格者の発表	3
6. 入学確約書の提出	3
VI 社会人特別選抜	4
1. 出願資格	4
2. 出願期間及び提出先	4
3. 出願書類等及び出願手続	4
4. 選抜の方法	5
5. 合格者の発表	6
6. 入学意思確認書の提出	6
VII 学力検査による入学者の選抜	6
1. 出願資格	6
2. 出願期間及び提出先	6
3. 出願書類等及び出願手続	6
4. 選抜の方法	8
5. 合格者の発表	9
6. 入学意思確認書の提出	9
VIII 入学手続及び諸経費	9
IX 長期履修学生制度	10
X 個人情報に関する取扱いについて	10
XI 入試情報の開示について	10
XII その他	10

入 学 案 内

《 情報電子システム工学専攻 》

1. 目的 1 1
2. 情報電子システム工学専攻の
修業年限及び修了要件 1 1
3. 情報電子システム工学専攻の特色 1 1
4. 学位（学士）の取得方法 1 1
5. 情報電子システム工学プログラム
について 1 2
6. 修了後の進路 1 5

《 生産システムデザイン工学専攻 》

1. 目的 1 6
2. 生産システムデザイン工学専攻の
修業年限及び修了要件 1 6
3. 生産システムデザイン工学専攻の
特色 1 6
4. 学位（学士）の取得方法 1 7
5. 「生産システムデザイン工学」
教育プログラムについて 1 7
6. 修了後の進路 2 0

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）
から振り込む場合の注意点 2 2

添 付 書 類

- ① 入学願書
- ② 写真票・受検票
- ③ 検定料振込済証明書貼付票
- ④ 調査書
- ⑤ 推薦書（推薦選抜用）
- ⑥ 入学志願者自己調書（推薦及び社会人特別選抜用）
- ⑦ 受検承諾書（社会人特別選抜用）
- ⑧ 宛名票
- ⑨ 検定料振込依頼書

平成31年度 仙台高等専門学校専攻科 学生募集要項

I アドミッションポリシー

本専攻科の入学者に期待される人間像及び入学者選抜の基本方針は、次のとおりです。

1. 入学者に期待される人間像
 - 1) 自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
 - 2) コミュニケーションの基本を身に付けた人
 - 3) 社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
 - 4) 自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
 - 5) 豊かな人間性を有する人

2. 入学者選抜の基本方針
 - 1) 科学・工学の基礎的な学力を評価します。
 - 2) 論理的に自分の考えを相手に伝える能力を評価の対象とします。
 - 3) さらに推薦選抜においては、社会の一員として、さまざまな問題を自発的に発見・解決し、人類・社会に貢献する意志を重視します。

II 募集人員及び選抜方法

専攻名	募集人数	計	推薦選抜	学力選抜	社会人特別選抜
情報電子システム工学専攻	30名	30名	15名	15名	若干名
生産システムデザイン工学専攻	40名	40名	20名	20名	若干名

III 選抜日程

区分	出願期間	検査日	合格発表日
推薦選抜	5月10日(木)～16日(水)	5月24日(木)	5月31日(木)
社会人特別選抜	5月10日(木)～16日(水)	5月24日(木)	5月31日(木)
学力選抜	6月1日(金)～7日(木)	6月15日(金)	6月28日(木)

IV JABEEの認定を受けた教育プログラム修了要件の確認について

各専攻には、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた教育プログラムがあり、各専攻の修了要件を満たし、かつ認定教育プログラムの修了要件を満たす者には「修習技術者」の資格が与えられ、さらに、将来、規定された条件を満たすことで、最短4年で技術士の資格が得られます。

本校出身者以外で「JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた教育プログラム」の修了を希望する者は、出身校で取得した授業科目について確認する必要がありますので、必ず各選抜の入学願書受付開始期日2週間前までに、本校学務課学務係（情報電子システム工学専攻 TEL：022-391-5537）又は学生課教務係（生産システムデザイン工学専攻 TEL：022-381-0265）に照会してください。

なお、プログラムの詳細は11ページからの入学案内を参照してください。

V 推薦による入学者の選抜

1. 出願資格

平成31年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物共に優れていると認めて推薦するもの（成績については、高等専門学校1～4年次における成績がおおむね上位二分の一以内であることを目安とする。）

2. 出願期間及び提出先

(1) 受付期間 平成30年5月10日（木）から平成30年5月16日（水）

(2) 受付時間 9時から16時まで

(3) 提出先 **《 情報電子システム工学専攻 》**

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

(1) 出願手続は、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。

①、③～⑤及び⑦の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写真票 ・ 受検票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
③ 推薦書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 ただし、本校の準学士課程に在籍する者が出願する場合は、所属する学科の長が作成したものを提出してください。
④ 入学志願者 自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑤ 調査書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)
⑥ 検定料	16,500円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。 <u>A T Mは証明書が発行されないため使用できません。</u> ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、 <u>22ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照してください。</u> また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕(お客さま控))」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、次の場合のみ検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑦ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑧ 返信用封筒 (受検票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、362円分(定形・速達)の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受検票を直接受け取る場合は不要です。
⑨ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(2) 出願及び受検上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**5月16日(水)16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受検票は、入学願書の受付後発送します。5月21日(月)まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認められません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ⑤ 身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、4月26日(木)までに入試係又は教務係へ連絡してください。
- ⑥ 平成31年度入学者選抜試験出願者で、その主たる家計支持者が、平成30年度に災害救助法の適用があった地域に居住して被災した場合には、申請により検定料の免除を行います。(予定) 詳細は、本校ホームページに掲載しますので、出願書類提出時に関係書類を添えて申請してください。

4. 選抜の方法

推薦による入学者選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書、入学志願者自己調書及び面接の結果を総合判定して行います。

- (1) 検査日 平成30年5月24日(木)10時から
- (2) 受検地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

5. 合格者の発表

平成30年5月31日(木)15時(予定)に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ(<http://www.sendai-nct.ac.jp/>)に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

推薦選抜に合格した者は、入学意思の確認のため平成30年6月7日(木)までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱いません。

VI 社会人特別選抜

1. 出願資格

入学までに有職経験(※)がおおむね1年以上ある者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当するもの

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、5月1日(火)までに入試係又は教務係へ電話等により照会してください。

※ 有職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は有職経験には含みません。なお、有職経験のない者の出願は受け付けません。

2. 出願期間及び提出先

- (1) 受付期間 平成30年5月10日(木)から平成30年5月16日(水)
- (2) 受付時間 9時から16時まで
- (3) 提出先 **《 情報電子システム工学専攻 》**

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

(1) 出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係へ提出してください。

①、③、⑤、⑥及び⑧の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の様式に必要な事項を記入してください。
② 写真票 ・ 受検票	本校所定の様式に必要な事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
③ 受検承諾書	本校所定の様式を使用し、勤務先の所属長が作成したもの。ただし、在職のまま入学する者に限る。(社印等のあるもの)
④ 在職証明書	在職期間、職務内容、身分を記載し所属長の発行したもの。 (様式任意、社印等のあるもの)
⑤ 入学志願者 自己調書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑥ 調査書	本校所定の様式を使用し、出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校

	の調査書も併せて添付してください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)
⑦ 検 定 料	<p>16,500円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。<u>ATMは証明書を発行されないため使用できません。</u></p> <p>ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、<u>22ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」</u>を参照してください。</p> <p>また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕(お客さま控))」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。</p> <p>なお、納付済の検定料は、次の場合のみ検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑧ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑨ 返信用封筒 (受検票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、362円分(定形・速達)の切手を貼付してください。
⑩ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(2) 出願及び受検上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**5月16日(水)16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受検票は、入学願書の受付後発送します。5月21日(月)まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ⑤ 身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、4月26日(木)までに入試係又は教務係へ連絡してください。
- ⑥ 平成31年度入学者選抜試験出願者で、その主たる家計支持者が、平成30年度に災害救助法の適用があった地域に居住して被災した場合には、申請により検定料の免除を行います。(予定) 詳細は、本校ホームページに掲載しますので、出願書類提出時に関係書類を添えて申請してください。

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、出身学校長から提出された調査書、入学志願者自己調書、小論文検査及び面接の結果を総合判定して行います。

- (1) 検査日 平成30年5月24日(木)10時から
- (2) 受検地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

5. 合格者の発表

平成30年5月31日(木) 15時(予定)に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ (<http://www.sendai-nct.ac.jp/>) に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

社会人選抜に合格した者は、入学意思の確認のため平成30年6月7日(木)までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VII 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者(平成31年3月修了見込みの者を含む)のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、5月28日(月)までに入試係又は教務係まで電話等により照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1) 受付期間 平成30年6月1日(金)から平成30年6月7日(木)
- (2) 受付時間 9時から16時まで
- (3) 提出先 **≪ 情報電子システム工学専攻 ≫**

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

≪ 生産システムデザイン工学専攻 ≫

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係に提出してください。
 - ①、③及び⑥の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写真票 ・ 受検票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)

③ 調査書	<p>本校所定の様式を使用し、在籍又は出身学校長が作成し厳封したもの。</p> <p>※ 調査書には、成績証明書を添付する必要があります。</p> <p>※ 出願資格(1)、(3)、(4)、(5)により出願する者は、それぞれ下記の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと、又は修了見込みであることを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)、(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書をもって代えます。修了証明書等があるときは当該書類も添付してください。
④ TOEIC スコア	TOEIC (TOEIC IP含む) の公式認定証又はスコアレポートの原本を提出してください (コピーは不可)。原本は確認後、返却します。
⑤ 検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。ATMは証明書が発行されないため使用できません。</p> <p>ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、22ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照してください。</p> <p>また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕(お客さま控))」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。</p> <p>なお、納付済の検定料は、次の場合のみ検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。それ以外の場合は、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 検定料を誤って二重に納付した場合
⑥ 宛名票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑦ 返信用封筒 (受検票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、362円分(定形・速達)の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受検票を直接受け取る場合は不要です。
⑧ その他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(2) 出願及び受検上の留意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、**6月7日(木)16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受検票は、入学願書の受付後発送します。6月12日(火)まで受検票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受検票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認められません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。

- ⑤ 身体等に障がいがある者で、受検上及び修学上特別な配慮を要すると思われる場合は、5月18日（金）までに入試係又は教務係へ連絡してください。
- ⑥ 平成31年度入学者選抜試験出願者で、その主たる家計支持者が、平成30年度に災害救助法の適用があった地域に居住して被災した場合には、申請により検定料の免除を行います。（予定）詳細は、本校ホームページに掲載しますので、出願書類提出時に関係書類を添えて申請してください。

4. 選抜の方法

学力検査による入学者選抜は、在籍又は出身学校長から提出された調査書、学力検査の結果、面接の結果の内容等を総合判定して行います。

- (1) 検査日 平成30年6月15日（金）
- (2) 受検地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス
- ※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

(3) 出題科目

英 語	TOEIC (TOEIC IP含む) のスコアを利用
専門科目	<p>【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】</p> <p>(1) 電気回路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直流回路 ・交流回路 ・過渡現象（RC回路、RL回路） <p>(2) 電磁気学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静電気 ・磁気 <p>(3) 情報基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎理論（2進数、基数、数値表現、演算精度、集合、ベン図、論理演算、命題） ・アルゴリズムとプログラム (データ構造、アルゴリズム、C言語を用いたプログラム)
	<p>【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】</p> <p><u>生産システム工学コース</u>は、次の3群から1つの群を選択</p> <p>I群：「材料力学」、「流体力学」、「熱力学」の3科目から2科目を選択</p> <p>II群：「電磁気学」、「電気回路」の2科目</p> <p>III群：「材料化学（物理化学、有機化学）」、「材料強度学（材料組織学、材料力学）」、「材料物性学（材料物性）」の3科目から2科目を選択</p> <p><u>建築デザイン学コース</u>は、「建築デザイン学A（建築計画〔都市計画、建築史、人間工学を含む〕、建築材料）」、「建築デザイン学B（建築環境工学、構造力学）」の2科目</p> <p>※ 両コースともに電卓を使用する計算問題を出題することがあります。使用する電卓は、本校で貸与します。</p>
数 学	<p>【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】</p> <p>基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式・フーリエ解析</p>
	<p>【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】</p> <p>「基礎数学・微分積分・代数幾何」に加えて「微分方程式とフーリエ解析から選択」</p>

(4) 学力検査・面接の時間

科目等	情報電子システム工学専攻	生産システムデザイン工学専攻
専門科目	9:00 ~ 10:30	10:00 ~ 12:00
数 学	10:50 ~ 12:20	13:00 ~ 14:30
面 接	13:20 ~	14:50 ~

5. 合格者の発表

平成30年6月28日(木) 15時(予定)に合格者の受検番号を受検したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ (<http://www.sendai-nct.ac.jp/>) に掲載します。

電話・ファックス等による可否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

学力選抜に合格した者は、入学意思の確認のため、平成30年9月28日(金)までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VIII 入学手続及び諸経費

- (1) 入学手続期間：平成31年3月13日(水)・14日(木)(予定)

合格者に別途通知します。

- (2) 提出書類：合格者に別途通知します。

- (3) 入学手続時に納入する経費

・入学科 84,600円

・国立高等専門学校学生傷害保険制度掛金 4,290円(2年間分)

- (4) 授業料 234,600円(年額)

前期分(4月～9月)及び後期分(10月～3月)の授業料各117,300円は、前期は4月に、後期は10月に金融機関口座から自動引き落としとなります。

※ 上記の経費等の金額は、関係規則の改正により改定されることがあります。

◀ 入学科・授業料免除 ▶

- (1) 入学科の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、災害を受けたことにより、経済的に入学科の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の願い出により選考の上、入学科を免除することがあります。

- (2) 授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた者、又は風水害等による災害を受け、納付が困難と認められる者には、本人の願い出により選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

《 奨学金制度 》

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

IX 長期履修学生制度

本専攻では、職業等を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願った者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じです。詳細については下記へ問い合わせてください。

《 情報電子システム工学専攻 》

広瀬キャンパス学務課学務係 (TEL 022-391-5537)

《 生産システムデザイン工学専攻 》

名取キャンパス学生課教務係 (TEL 022-381-0265)

X 個人情報に関する取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにのみ利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 学生証の作成

XI 入試情報の開示について

入学試験成績の開示請求については、本校総務課総務係 (TEL 022-391-5508) に問い合わせてください。

XII その他

- (1) 受検のための宿泊の斡旋は行っていません。
- (2) 出願等に関し不明な点があるときは、下記まで電話又は書面で問い合わせてください。

《 情報電子システム工学専攻 》

仙台高等専門学校 広瀬キャンパス 学務課入試係
TEL 022-391-5542
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校 名取キャンパス 学生課教務係
TEL 022-381-0254
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

入学案内

情報電子システム工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。

情報電子システム工学専攻は、最先端の情報・電子製品を構成している情報・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザインの能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を承継できる国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 情報電子システム工学専攻の修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 当該専攻で開設されている全ての必修科目の単位数を含め62単位以上（一般科目10単位以上、専門科目52単位以上）を修得すること。

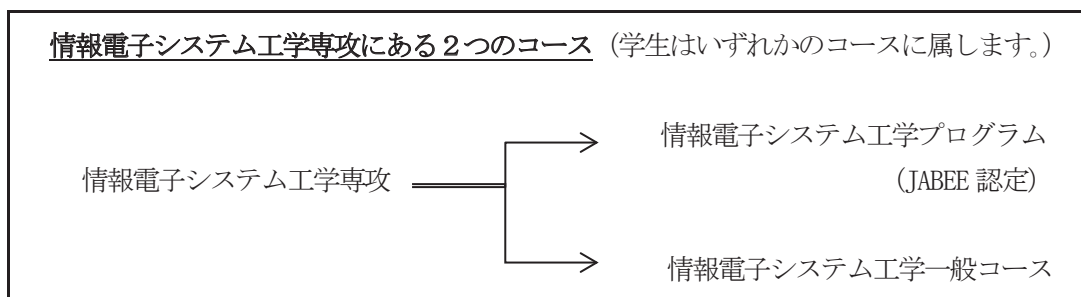
情報電子システム工学プログラムの場合は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項を参照してください。

3. 情報電子システム工学専攻の特色

本専攻には、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたコース（情報電子システム工学プログラム）と、認定を受けていないコース（情報電子システム工学一般コース）とがあります。

どちらのコースでも、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を得ることが可能です。認定を受けていないコースの修了要件は、情報電子システム工学専攻の修了要件と同じです。認定を受けたコースの登録要件と修了要件は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項で明記します。

なお、各コースへの所属は、本人の希望により、1年次の4月中に決定しますが、その後のコース変更は原則として認められません。



4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、申請することにより、学士の学位を取得できます。

本専攻は同機構の特例適用認定を受けており、修了時に学士の学位を取得することができます。学位の申請には、審査手数料として32,000円が必要となります。

なお、他高専からの入学や、本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合は、特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願前に本校広瀬キャンパス学務課までご相談ください。

5. 情報電子システム工学プログラムについて

情報電子システム工学プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）に対応する教育課程であり、以下に述べる学習・教育到達目標を達成することを目指すコースです。

〔プログラムの学習・教育到達目標〕

- (A) 日本語と英語でしっかりしたコミュニケーションができるようになること。
 - (i) コミュニケーション能力については、専攻研究論文の完成度のみならず、それを仕上げるまでの数回の研究発表能力も評価される。
 - (ii) 英語の能力については、専攻英語 I・IIにおける英語による理工系プレゼンテーションやディスカッションを通して、国際的な視野、知識、コミュニケーション能力が評価される。
- (B) コンピュータを介して自在に情報のやりとりができる能力、すなわちコンピュータリテラシーを身に付けること。
- (C) 情報工学あるいは電子工学の分野で、人間性豊かなエンジニアとして活躍するための知識を獲得すること。
 - (i) 物事を幅広い視点から考えることができ、偏らない判断のできるエンジニアを目指す。
 - (ii) 技術の発展が社会や環境に及ぼす効果や影響を、把握・評価できるような、技術者倫理をしっかりと身に付けたエンジニアを目指す。
- (D) 専攻研究を通して、新しい技術分野にチャレンジする体験を持つこと。
 - (i) 与えられた研究課題に対して、積極的に調査・検討し、解決する方法を自ら考える体験を持つこと。
 - (ii) 研究を進めていく間に派生する問題を自ら整理し、その解決策を模索する体験を持つこと。
- (E) 学科における実践的な技術者教育の基礎の上に、より高度な情報工学あるいは電子工学及び両者の関連技術を修得し、電子素子・電子機器・制御システムの分野で、あるいはコンピュータのソフトウェア・ハードウェア・通信システムの分野で、研究開発に貢献できるようになること。

上記の目標項目のうち、(A) から (C) までは本校の学科課程における目標と同じ表現ですが、目指すレベルは高いところに設定されています。たとえば、エンジニアとして必須の技術者倫理については、専攻科に開設の講義科目の中で、少人数でのディスカッションを通して身に付いていることが判断されます。

さらに、このプログラムの修了には、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を得ることも、その必要な条件となっています。

[プログラム登録者の決定方法]

高専の4年、5年において、以下に示す科目を60点以上で修得していることが必要条件です。

技術者倫理に関する科目：1単位以上
数学（応用数学など）に関する科目：2単位以上
自然科学に関する科目：4単位以上
情報処理に関する科目：1単位以上
専門基礎（電磁気学、電気／電子回路など）に関する科目：4単位以上
工学実験（創造的製作を含む）に関する科目：5単位以上（卒業研究を含めてもよい）

ただし、本校の学生については、添付の「学習・教育到達目標とプログラム対応科目」の表に上げられている科目とします（これは上記の条件を満足しています。）。

なお、カリキュラム上、やむを得ない理由で上記科目の履修ができなかった学生は、専攻科在籍中に授業時間割上可能な範囲で、専攻科修了要件には含まれない自由聴講科目として履修することができます。

専攻科に入学後、条件を満たしている学生について、その意志を確認してプログラム登録者とします。情報電子システム工学プログラムを選択した学生は、修了要件として、以下の4つの条件を満足する必要があります。

- (1) 高専の4年、5年の課程において、指定の科目を60点以上で修得していること。
- (2) 学習・教育到達目標とプログラム対応科目の表に指定されている条件を満たした上で、専攻科の修了要件も満足すること。
- (3) 専攻英語Ⅰ・Ⅱの単位を修得していること。
- (4) 大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。

本校の学習・教育到達目標 JABEE認定基準	情報電子システム工学専攻		知能エレクトロニクス工学科		情報システム工学科		情報ネットワーク工学科	
	科目名	学年単位特記	科目名	学年単位特記	科目名	学年単位特記	科目名	学年単位特記
A 日本語と英語でしっかりしたコミュニケーションができるようになること f:発表、コミュニケーション能力 i:チームで仕事するための能力	専攻英語Ⅰ 専攻英語Ⅱ 専攻英語Ⅲ 専攻研究Ⅰ 専攻研究Ⅱ	1 2 2 2 1 2 1 6 2 8						
B コンピュータを介して自在に情報のやりとりができる能力、すなわちコンピュータリテラシーを身につけること e:科学、技術、情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	思想 社会経済学 国際文化特講 思想史 情報社会学特講 企業社会学 工業数学 情報論理学 物理化学 7.夕解析	2 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1 2 1 2	4 1	ソフトウェア工学基礎	4 2	*1	ネットワークプログラミング	4 2
C 情報工学あるいは電子工学の分野で、人間性豊かなエンジニアとして活躍するための知識を獲得すること a:地学的視点から多面的に考える能力と素養 b:技術者倫理 c:数学、自然科学の知識と応用能力 d:当該分野で必要な知識と応用能力	思想 社会経済学 国際文化特講 思想史 情報社会学特講 企業社会学 工業数学 情報論理学 物理化学 7.夕解析	2 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1 2 1 2	5 2 5 2 4 2 4 2 5 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2	技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理	5 2 5 2 4 2 4 2 5 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2		技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理 技術者倫理	5 2 5 2 4 2 4 2 5 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2
D 当該分野で必要な知識と応用能力 e:科学、技術、情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 f:発表、コミュニケーション能力 g:自主的、継続的に学習できる能力 h:計画的に仕事を進め、まとめる能力 i:チームで仕事するための能力	インテンシブA インテンシブB 専攻英語 専攻実験・実習Ⅰ	1 3-6 1 6 1 6 1 6	4 3 5 3	知能エレクトロニクス実験Ⅰ 知能エレクトロニクス実験Ⅱ	4 3 5 3		情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ	4 3 5 3
E より高度な情報工学あるいは電子工学および回線の関連技術を修得し、電子素子・電子機器・制御システムの分野で、あるいはコンピュータのソフトウェア・ハードウェア・通信システムの分野で、研究開発に貢献できること d:当該分野で必要な知識と応用能力	専攻研究Ⅰ 専攻研究Ⅱ エレクトロニクス論 知能ロボティクス論 コミュニケーション論 ソフトウェア論 網域システム設計 デジタル信号処理 物質の構造と設計 電子回路設計 ハードウェア設計 応用電機工学 運動伝達工学 メカニクス 計測制御工学 ソフトウェア工学 画像処理論 インターネット・セキュリティ 科学技術特講	1 6 2 8 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1-2		電子素子・電子機器・制御システムの分野で、あるいはコンピュータのソフトウェア・ハードウェア・通信システムの分野で、研究開発に貢献できること			電子素子・電子機器・制御システムの分野で、あるいはコンピュータのソフトウェア・ハードウェア・通信システムの分野で、研究開発に貢献できること	

(特記)

*1 1単位分をあてる(情報処理関連)

*2 うち、2単位以上履修のこと

*3 うち、4単位以上履修のこと

*4 群選択(16単位以上履修のこと)
空欄 単独でプログラム対応科目

6. 修了後の進路

平成5年度に専攻科設置後、595名が修了しており、平成26年度以降の修了後の進路は次のとおりです。

平成28年度修了生

就 職 先
(株)アルプス技研、NEC ネットエスアイ(株)、CTCテクノロジー(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)、ソフトバンク(株)、チームラボ(株)、新潟トランス(株)、日新製薬(株)、パナソニック システムネットワークス(株) システムソリューションズカンパニー、日立交通テクノロジー(株)、(株)百戦錬磨、三菱電機(株)、(株)メンバーズ、横河レンタ・リース(株)、(株)ワークスアプリケーションズ
進 学 先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院教育情報学教育部

平成27年度修了生

就 職 先
イワタニ東北(株)、(株)NHKアイテック、NTTコムウェア(株)、大郷町役場、開発電子技術(株)、コスモリサーチ(株)、国家公務員(公安調査庁)、(株)K o r g、(株)中央製作所、富士通(株)、フジテック(株)、三菱電機プラントエンジニアリング(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、ヤマハ発動機(株)
進 学 先
筑波大学大学院、電気通信大学大学院、東京工業大学大学院、東北大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学

平成26年度修了生

就 職 先
アイシン・コムクルーズ(株)、(株)アルプス技研、NECソリューションイノベータ(株)、NEC ネットエスアイ(株)、NHK、(株)NHKアイテック、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、応用リソースマネージメント(株)、(株)サイゼリヤ、(株)中央エンジニアリング、ディーピーティー(株)、東京エレクトロン宮城(株)、東北インテリジェント通信(株)、(株)日立アドバンストシステムズ、(株)富士通エフサス、(株)富士通ミッションクリティカルシステムズ、マネージメントサービス(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)ミライト、(株)メンバーズ
進 学 先
東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院環境科学研究科、東北大学大学院工学研究科、筑波大学大学院システム情報工学研究科、筑波大学大学院数理物質科学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

生産システムデザイン工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。生産システムデザイン工学専攻は、持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 生産システムデザイン工学専攻の修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 専攻科に2年以上在学し、学則に定める授業科目を履修し、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上、計62単位以上を修得すること。

3. 生産システムデザイン工学専攻の特色

仙台高等専門学校専攻科生産システムデザイン工学専攻は次の2コースから構成され、その教育はコース毎に行われます。

- (1) 生産システム工学コース
- (2) 建築デザイン学コース

コースへの配属は各自の希望に基づき、決定されます。
各コースの教育方針は以下のとおりです。

(1) 生産システム工学コース

人間と環境との調和を重視し、複数領域の技術を融合して社会が必要とする新技術の開発と高度な生産システムを構築・発展させることができる技術者を養成する。コースでは、準学士課程で習得した機械工学系、電気工学系、材料工学系の専門の基礎の上に、更に高度な専門技術を学ぶとともに、一般科目及び専門基礎科目として多面的に展開する科目群を配置することにより、積極的に他分野の技術も学習する。これらの技術を、指導教員の下で研究を行う専攻研究、企業等でのインターンシップ、複合的なテーマの広範な実験・実習等を通して研鑽し、人間と環境との調和を重視する複眼的視野の下に応用、展開できる能力を身に付けさせる。

対応する準学士課程学科：機械工学、電気工学、電子工学、材料工学、化学工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分

：機械工学、電気電子工学、情報工学、材料工学

(2) 建築デザイン学コース

建築学、デザイン学、人間科学に加えて、幅広い工学基礎をも包含した科目群を総合的に学び、将来明るく幸せな暮らしができる住まいから都市まで、将来質の高い住空間、社会環境のデザイン全般に携わる責任感のある公平公正な人材を育成する。コースでは、準学士課程5年間で学ぶ建築設計、建築計画、建築環境工学、建築構造、デザイン学、人間科学に立脚し、建築関連科目に関しては、それぞれの問題解決能力を高めるための科目を配置し、デザイン学、人間科学に関しては、その建築への応用を目指した科目を配置する。さらに、幅広い工学基礎科目を加えた教育課程編成とすることにより、これらを応用できる総合力を習得させる。

対応する準学士課程学科：建築学、土木工学、建設工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：建築学

4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

本専攻は同機構の特例適用認定を受けており、修了時に学士の学位を取得することができます。

学位の申請には、審査手数料として32,000円が必要となります。

なお、他高専からの入学や、本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合は、特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。

5. 「生産システムデザイン工学」教育プログラムについて

(1) プログラムの概要

準学士課程4年次から専攻科2年次までの4年間は、「生産システムデザイン工学」教育プログラムに基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは平成14年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

- (1) 技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。
- (2) 将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短4年で技術士の受験資格が得られる。

「生産システムデザイン工学」教育プログラムは、以下に掲げる項目を学習・教育到達目標としています。

(A)：「数学、自然科学、情報技術に関する能力」

産業の様々な要求に応える数学、自然科学、情報技術を使いこなし、又は、工業技術に応用できる基礎能力を持った技術者

A-1 数学・自然科学を理解し、使いこなせる基礎能力 ((c)自然科学)

A-2 情報技術を理解し、工業技術に応用できる基礎能力 ((c)基礎情報技術)

(B) : 「歴史・文化、環境、技術者倫理を理解する能力」

歴史や文化の多様性を常に考え、人間を取り巻く環境を重視して、技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する倫理を持った技術者

B-1 歴史や文化を理解できる能力 ((a)文化系教養)

B-2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力 ((b)技術者倫理)

(C) : 「日本語・外国語、コミュニケーション基礎能力」

日本語により、記述し、発表・討論する能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を持った技術者

C-1 日本語により、記述・発表・討論する能力 ((f)日本語コミュニケーション)

C-2 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力 ((f)外国語コミュニケーション)

(D) : 「設計・企画・デザインする能力」

工業技術システムを理解し、設計・企画・デザインする能力を持った技術者

D-1 専門分野に関する工業技術を理解し、応用する能力 ((d)専門の基礎能力)

D-2 専門分野と周辺の工業技術を理解し、デザインに応用展開できる能力 ((e)専門のデザイン力)

(E) : 「自主的・継続的に創造・開発・解決する能力」

自主的・継続的に新しい工業技術を学習し、与えられた制約の下で計画的に創造・開発してまとめる基礎能力を持った技術者

E-1 自主的・継続的に新しい、工業技術を学習する能力 ((g)自主性・継続性)

E-2 与えられた制約の下で計画的に、問題解決・開発・創造し、まとめる基礎能力 ((h)計画とまとめ力) ((i)チームワーク)

上記文末 (a)～(i) の具体的な内容は以下のとおりです。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会及び自然に及ぼす影響や効果、技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)
- (c) 数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらに応用できる能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力
- (e) 種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力
- (g) 自主的・継続的に学習できる能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をする能力

(2) 「生産システムデザイン工学」教育プログラム修了要件

1	学位（学士）取得者
2	生産システムデザイン工学教育プログラムにおいて、124単位以上修得者。
3	生産システムデザイン工学教育プログラムにおいて、1,600時間以上の総授業時間を経験していること。ただし、この時間に250時間以上の人文科学、社会科学等（語学教育を含む）、250時間以上の数学、自然科学、情報技術、900時間以上の専門技術に関する学習・教育時間を含むこと。 この学習内容区分については「科目構成」の中で、人文科学、社会科学等（語学教育を含む）については「教養一般科目」を、数学、自然科学、情報技術については「基礎能力」に「情報・論理系科目群」を加えたものを、また、専門技術については「情報・論理系科目群」を除いた「基礎工学並びに専門工学の知識・能力」をそれぞれ対応させるものとする。
4	数学の分野に関しては、「微分積分学、線形代数、微分方程式、確率と統計、数値解析、応用数学などに関連する科目群」の中の6群から4群にわたって、直接関連する科目を4科目以上修得すること。
5	物理、化学、生命科学などについては、物理、化学、生命科学（地球物理学、遺伝子工学、環境科学等を含む）の3群について、直接関連する科目を各群から1科目以上、合計3科目以上修得すること。
6	「基礎工学並びに専門工学の知識・能力」の中の各系（「設計・システム系科目群」、「情報・論理系科目群」、「材料・バイオ系科目群」、「力学系科目群」）の各群から1科目以上、合計6科目以上修得すること。
7	「工業技術システムを理解する能力科目群」、「設計・企画・デザインする能力科目群」、「新しい工業技術を創造・開発できる能力科目群」、「工業システムを再構築できる能力科目群」の各群から1科目以上、合計6科目以上修得すること。
8	専攻実験を必ず修得すること。
9	工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力科目群として、①卒業研究、②専攻研究Ⅰ及び専攻研究Ⅱを修得するとともに、③研究内容の学会などで学外発表をすること。
10	技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群として、①創造工学演習、②インターンシップA、インターンシップB、エンジニアリング実習及び専攻実習から合計4単位以上、①及び②を合わせて8単位以上修得すること。
11	「歴史・文化を理解する能力科目群」の中から2科目以上修得すること。 「社会技術系科目群」の中の「技術者倫理科目群」から2科目以上、「社会・地球環境科目群」から2科目以上修得すること。
12	英語の能力については、Educational Testing Service が行う TOEIC (Test of English for International Communication) で400点相当以上の能力を備えていること。

6. 修了後の進路

平成10年度に専攻科設置後、562名が修了しており、平成26年度以降の修了生の進路は次のとおりです。

平成28年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
ANAベースメンテナンステクニクス㈱、ANAラインメンテナンステクニクス㈱、海上自衛隊、㈱コー・ワークス、サントリープロダクツ㈱、仙台市、ソニーストレージメディア・アンド・デバイス㈱、第一精工㈱、中外製薬㈱、東京エレクトロン㈱、東燃ゼネラル石油㈱、東北電力㈱、東北パイオニアEG㈱、東洋エンジニアリング㈱、ナブコシステム㈱、日東紡績㈱、日本精工㈱、福島製鋼㈱、フジテック㈱、㈱真壁技研、メタウォーター㈱、㈱メンバーズ、森永乳業㈱	㈱オープンハウス、㈱鴻池組、㈱東北開発コンサルタント、大東建託㈱、東北電力㈱、㈱ナカノフドー建設、東日本旅客鉄道㈱、㈱福建技術コンサルタント
進 学 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院環境科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	東北大学大学院工学研究科、長岡技術科学大学院工学研究科

平成27年度修了生

就 職 先		
生産システム工学コース	建築デザイン学コース	情報デザイン学コース
㈱IHI検査計測、NOK㈱、㈱アウトソーシングテクノロジー、アネスト岩田㈱、アルプス電気㈱、㈱エイアンドティ、コスモシステム㈱、コニカミノルタテクノプロダクト㈱、パナソニック システムネットワークス㈱ システムソリューションズ ジャパンカンパニー、㈱メムス・コア、川崎重工業㈱、東燃ゼネラル石油㈱、㈱西島製作所、日特エンジニアリング㈱、日本精工㈱	㈱大林組、警視庁、宮城県	NECフィールドイング㈱、㈱エヌ・ティ・ティエムイー、パイオニアシステムテクノロジー㈱、ヤマトシステム開発㈱、㈱ルクレ、大日本印刷㈱、東洋製版㈱、㈱富士通システムズイースト
進 学 先		
生産システム工学コース	建築デザイン学コース	情報デザイン学コース
東北大学大学院環境科学研究科、東北大学大学院工学研究科、長岡技術科学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	東北大学大学院工学研究科	東北大学大学院情報科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

平成26年度修了生

就 職 先		
生産システム工学コース	建築デザイン学コース	情報デザイン学コース
(株)IHI 検査計測、NOK(株)、(株)小松製作所小山工場、(株)ジャムコ、セコム工業(株)、相馬共同火力発電(株)、DMG 森精機(株)、テルモ(株)、日本精工(株)、日本ハム食品(株)、日本鉄道電気設計(株)、日本ビソー(株)、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ、富士ゼロックス東京(株)、富士電機(株)、(株)牧野フライス製作所、三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所	(株)泉パークタウンサービス、(株)竹中工務店	NECフィールドディング(株)、(株)エヌ・ティ・ティエムイー、(株)廣濟堂、東京ガス(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)富士通システムズ・イースト、(株)富士通ディフェンスシステムエンジニアリング、ヤマトシステム開発(株)
進 学 先		
生産システム工学コース	建築デザイン学コース	情報デザイン学コース
東北大学大学院医工学研究科、東北大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科、横浜国立大学大学院工学府	東北大学大学院工学研究科	東北大学大学院工学研究科

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口でゆうちょ銀行の「振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「検定料振込済証明書貼付票」には貼らずに、「検定料振込済証明書貼付票」といっしょに提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034		振込依頼書（兼振替払出請求書）〔電信扱い〕		「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛																	
<small>※本枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※印欄は、該当の項目にレ印をつけてください。 ▲ 聯合口座の場合は選票に記載のある方のみご記入ください。</small>																					
ご依頼日		年 月 日		<small>※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。</small>																	
金融機関名	<input type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他			支店名	支店																
お預金種目	<input type="checkbox"/> 1 普通(総合) <input type="checkbox"/> 2 当座 <input type="checkbox"/> 4 貯蓄 <input type="checkbox"/> 9 その他 ()	口座番号	金額																		
おなまえ	フリガナ			<table border="1"> <tr> <td>振込金額</td> <td>5万円未満</td> <td>5万円以上</td> </tr> <tr> <td>料金(消費税込)</td> <td>648円</td> <td>864円</td> </tr> </table>		振込金額	5万円未満	5万円以上	料金(消費税込)	648円	864円										
振込金額	5万円未満	5万円以上																			
料金(消費税込)	648円	864円																			
おところ	郵便番号 (-)																				
フリガナ	フリガナ																				
おなまえ	おなまえ 様																				
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	通知番号		<small>※お受取人様に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合(お名前の前に数字を入れる場合)に左詰めでご記入ください。</small>																	
払出口座番号	記号		番号(左詰めでご記入ください)																		
払出口座名義人(代理人)	おところ		郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。																		
	おなまえ		お届け印																		
科目	取扱年月日	取扱時間	取扱店番号	処理通番	受払摘要																
請求種別		振込先			代行店番号																
		お受取人おなまえ			様																
	払出口座番号	払出口座名義人	ご住所		様																
	振込金額	円 振込料金	円 (消費税等を含む)																		
	合計金額	円 払出明細番号																			
<small><取扱店使用欄></small> <table border="1"> <tr> <td>現金</td> <td>印</td> <td>本・代・使 ()</td> <td>本・代・法 備</td> <td>検</td> <td>印</td> <td>取</td> <td>受</td> </tr> <tr> <td>カード</td> <td>印</td> <td>確認 ()</td> <td>任・顧 考</td> <td>査</td> <td>票</td> <td>引</td> <td>付</td> </tr> </table>						現金	印	本・代・使 ()	本・代・法 備	検	印	取	受	カード	印	確認 ()	任・顧 考	査	票	引	付
現金	印	本・代・使 ()	本・代・法 備	検	印	取	受														
カード	印	確認 ()	任・顧 考	査	票	引	付														
<small>(1枚目) OCR用 (取扱郵便局・取扱店一時的な事務センター) 〒64600(27・1F) ゆうちょ銀行</small>																					

平成31年度 仙台高等専門学校専攻科
入学願書

受検番号	※
------	---

選 抜 種 別 (該当するものを○で 囲んでください。)	推 薦 選 抜 ・ 社 会 人 特 別 選 抜 ・ 学 力 選 抜			
志 望 専 攻 名 (志 望 する 専 攻 を ○ で 囲んでください。)	情 報 電 子 シ ス テ ム 工 学 専 攻 ・ 生 産 シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 専 攻			
生産システムデザイン工学専攻の志望者は、 配属希望のコースを○で囲んでください。	生産システム工学コース ・ 建築デザイン学コース			
生産システムデザイン工学専攻志願者のうち 「生産システム工学コース」の配属を希望し 学力選抜に出願する者は、受検する専門科目 を右の群から1つ選択して○で囲んでください。	I 群 ・ II 群 ・ III 群			
<注意> その他のコース・専攻においては、専門科目の選択を要しないか、当日試験開始後の選択となります。				
志	ふりがな		男	生 年 月 日
	氏 名		女	西 曆 年 月 日
願	現住所	〒 TEL() 局 番		
	出願資格 (卒業学校)	高等専門学校 学科 短期大学 科 専門学校 科 (西 曆 年 月 卒 業 ・ 卒 業 見 込 ・ 修 了 ・ 修 了 見 込) 所在地 〒 TEL() 局 番		
者	学 歴	西 曆 年 月 日	中学校卒業	
		自 西 曆 年 月 日		
	至 西 曆 年 月 日			
	職 歴	自 西 曆 年 月 日		
		至 西 曆 年 月 日		
		自 西 曆 年 月 日		
		至 西 曆 年 月 日		
自 西 曆 年 月 日				
勤 務 先 名 (所 在 地)	〒 TEL() 局 番			
合格通知書等 の 受 信 場 所 (現 住 所 以 外 の 場 合 は 記 入)	〒 TEL() 局 番			

記入上の注意

- 1 学歴・職歴は、中学校卒業後から記入すること。
- 2 勤務先は、企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入すること。
- 3 ※欄は、記入しないこと。
- 4 ペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で正確に記入すること。

写 真 票

平成31年度 専攻科

受検番号	※
選抜種別	推薦・社会人 特別選抜 ・ 学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名 <small>(生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ)</small>	生産 ・ 建築
ふりがな	
氏 名	
生年月日	西暦 年 月 日

写 真

上半身・脱帽・正面で、
出願の3か月以内に
撮影したものを貼付
(縦4cm×横3cm)

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

受 検 票

平成31年度 専攻科

受検番号	※
選抜種別	推薦・社会人 特別選抜 ・ 学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名 <small>(生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ)</small>	生産 ・ 建築
ふりがな	
氏 名	

選抜日時

推薦選抜

平成30年 5月24日 (木) 10時

社会人特別選抜

平成30年 5月24日 (木) 10時

学力選抜

平成30年 6月15日 (金)

- ・ 情報電子システム工学専攻 9時
- ・ 生産システムデザイン工学専攻 10時

検査場所

情報電子システム工学専攻

→ 広瀬キャンパス

生産システムデザイン工学専攻

→ 名取キャンパス

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

(切り離さないでください)

受 検 番 号	※
---------	---

検定料振込済証明書貼付票

志 願 者 氏 名

<p>〔 検 定 料 振 込 済 証 明 書 (学校提出用) 貼付箇所 〕</p> <p>◎ 取扱銀行収納印のある 「検定料振込済証明書」 を貼付してください。 (本人保管の「受取書」は 貼付しないでください。 また、取扱銀行収納印の ないものは無効です。)</p> <p>◎ 必ず銀行の受付窓口で 振り込んでください。 ATMからの振込は証明 書が発行されないため 使用できません。</p>
--

※ 既納の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

平成31年度 仙台高等専門学校
専攻科入学者選抜

調 査 書

		受検番号	※						
		志望専攻	工学専攻						
ふりがな									
氏 名	学 校 ・ 学科名		国 立 公 立 私 立	高等専門学校 学科					
生年月日	西暦	年	月	日	西暦	年	月	入学・編入学・転入学	
性 別	男 ・ 女		西暦	年	月	卒業・卒業見込			
成 績 証 明 書	出身高等専門学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したものを添付してください(成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。)								
学 科 内 席 次	学年	順 位		標 語 の 評 点 基 準					
	1年	人	中	位	S	秀	点	～	点
	2年	人	中	位	A	優	点	～	点
	3年	人	中	位	B	良	点	～	点
	4年	人	中	位	C	可	点	～	点
	5年	人	中	位	D	不可	点	～	点
卒業研究 題 目									
在 学 中 の 状 況									
	休学期間： 休学理由：								
記載者氏名									
印									
上記のとおり相違ないことを証明する。									
西暦 年 月 日									
所 在 地									
学 校 名									
学 校 長 名									
								職印	

※在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

推薦選抜用

受検番号 ※

推 薦 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

学 校 名
学校長名 印

下記の者は、学業成績、人物共に優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい者と認められるので推薦します。

記

志望専攻 : _____ 工学専攻

所属学科 : _____ 学科

氏 名 : _____

生年月日 : 西暦 年 月 日生

記載者の
職・氏名 印

推 薦 事 由	
そ 参 考 他 事 の 由	

入学志願者自己調書

受検番号

※

志望専攻
(該当に○)

情報電子システム工学専攻 ・ 生産システムデザイン工学専攻

所 属
(学校/ 学科)
(企業/課・係)

ふりがな

氏 名

① 進学 の 動 機

② 大学編入では
なく本校専攻科
を志望する理由③ 学科在学中に
力を入れたこと

④ 卒業研究題目

⑤ 卒業研究要旨

◎ 両面印刷のこと

受検番号	※
ふりがな 氏名	
志望専攻 (該当に○)	情報電子システム ・ 生産システムデザイン 工学専攻

<p>⑥ 専攻科で力を入れたこと (専攻研究以外で)</p>	
<p>⑦ 専攻研究に関する抱負</p>	
<p>⑧ 専攻科修了後の進路について</p>	

以上

社会人特別選抜用

受検番号

※

受 検 承 諾 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

企業等名：

所属長： 印

下記の者が、仙台高等専門学校専攻科社会人特別選抜検査を受検することを承諾します。

記

出願者氏名：

生 年 月 日： 西暦 年 月 日（ 歳）

所属（部課等）：

在 職 期 間： 自 西暦 年 月 日
至 現在

宛 名 票

□ □ □ - □ □ □ □	※受検番号
----- -----	
様方 様	
□ □ □ - □ □ □ □	※受検番号
----- -----	
様方 様	

- この宛名票は、本校より受検者宛てに通知する際に使用するものです。番地まで楷書で正確に記入してください。団地等に住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と記入しないと郵便物が届かない場合がありますので、特に注意してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 記入後は、切り離さずにこのまま同封してください。

検定料振込依頼書

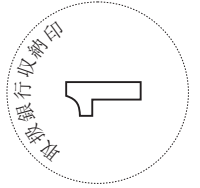
※必ず銀行の窓口で振込手続きをしてください。
(ATM使用不可)

※ここから切り離して使用してください

検定料振込済証明書 (志願者が高専へ提出する)

平成	年	月	日
金額	¥	16500	00
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店		
受取人	普通口座番号 5428688		
氏名(カナ)	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人(志願者)			
摘要	入学試験検定料		

(注意)
・振込には必ずこの振込用紙を使用してください。
・本票は、出願期間内に出願書類に貼付け、高専に提出してください。
・本票に、取扱銀行取納印が無い場合は無効です。



検定料振込金受取書 (本人保存)

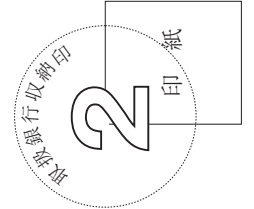
平成	年	月	日
金額	¥	16500	00
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店		
受取人	普通口座番号 5428688		
ご依頼人(志願者)	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
摘要	入学試験検定料		
手数料(消費税込)			円

上記の金額正に受取りました

(取扱店)

銀行

支店



電信報 振込依頼書 (取扱店保存)

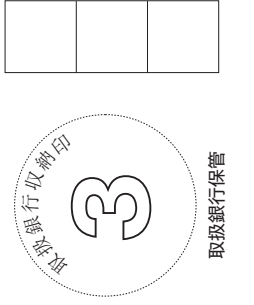
依頼日	平成	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	検定料
振込先銀行	七十七銀行宮城町支店							
受取人	普通口座番号 5428688							
氏名(カナ)	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部							
氏名(漢字)								
(住所)〒								
ご依頼人(志願者)	(電話番号) ()							

取扱銀行へのお願い

☑ ☐ ☐

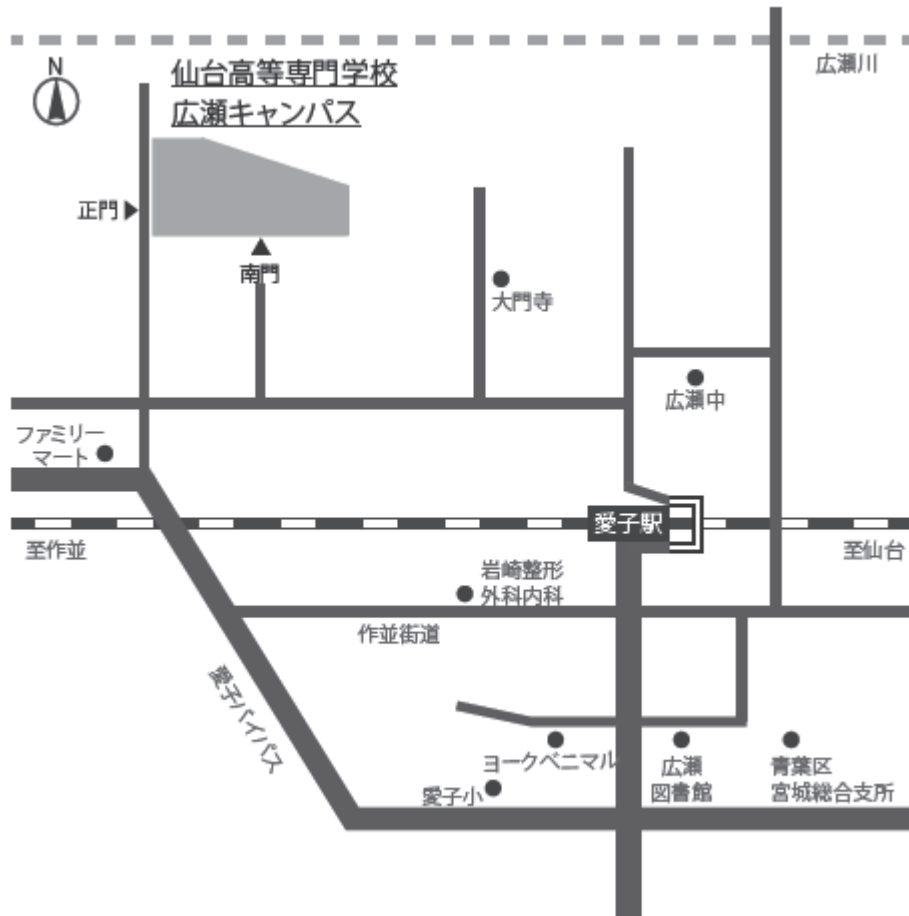
大宛宛先に打電してください。(必ず依頼人の氏名(カナ)を打電してください)
金額の訂正してあるものは受け付けていません。
取納印は、1・2・3ともれなく正確に押し、1・2各票は依頼人にお返しください。

銀行切り離し



取扱銀行保管

仙台大専・広瀬キャンパス案内図



【交通案内】

- JR「仙台駅」から仙山線に乗車約30分、「愛子駅」下車、徒歩約15分（約900m）
- 仙台市営バス、仙台駅前から作並温泉、定義、白沢車庫行きに乗車、約45分、「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車徒歩5分（約400m）

仙台大専・名取キャンパス案内図

